

静岡県議会レポート

県庁内 控室 静岡市葵区追手町9-6 TEL054-221-3510
浜松市西区入野町9860-1 TEL053-440-7100

浜松市西区 田口 章



未来にツケを回さない！



静岡県議会は2月14日から3月10日まで2月定例会を開催しています。

最大のテーマである「令和5年度当初予算案」は、一般会計総額が過去最大になりました。

議案採決は閉会日に行われるため、本稿の段階ではまだ「案」ですが、下記に概要をお知らせします。

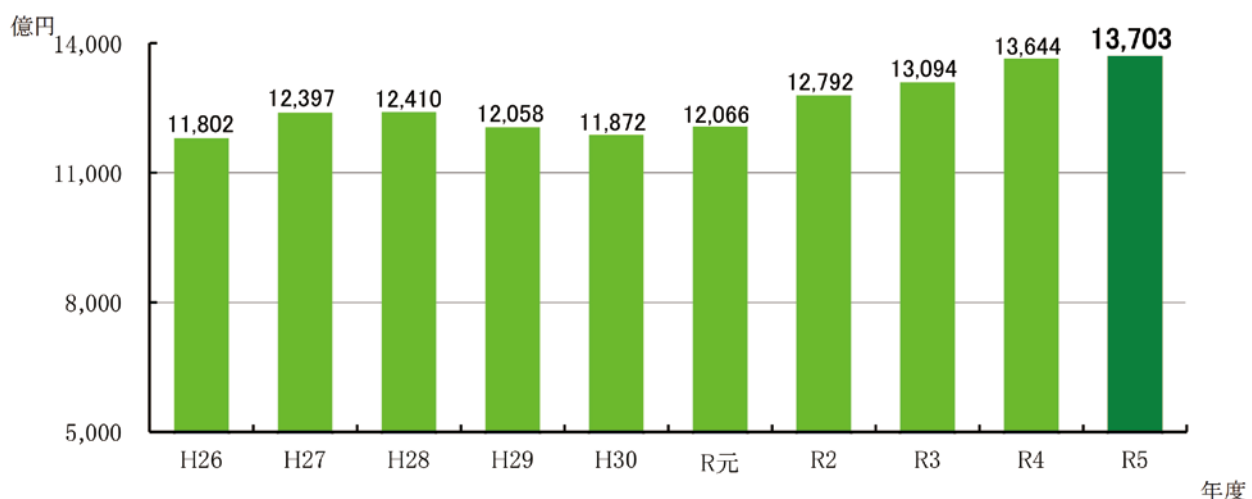
また2月17日に、任期最後となる代表質問に登壇しました。裏面に一部掲載しました。ご意見などお気軽にお聞かせください。

◎一般会計予算案 1兆3703億円(過去最大)

社会が大きな転換期を迎える中、自然災害への対応や物価高対策、コロナ対応など、安全・安心な生活づくりが求められています。また、デジタル化、脱炭素化、EV化など私たちの生活や産業を取り巻く環境も大きく変化しています。当初予算案はこれらへの対応を踏まえ編成されましたが、課題もあります。詳細は右の二次元コードからご覧ください(県HPにリンクしています)。



◎当初予算額の推移(一般会計)



◎代表質問の論戦2題（その他の質問項目は下記オフィシャルサイトをご覧ください）

Q. 令和 5 年度当初予算編成について

令和 5 年度当初予算案は、一般会計総額が 1 兆 3703 億円と過去最大となった。その一方、財源不足額は 538 億円に拡大、財政調整用基金残高は 189 億円まで減少するなど厳しい環境だった。財政健全化に向けた取り組みについて伺う。

【答弁 川勝知事】

歳出のスリム化と歳入確保で 73 億円の財源をねん出した。今後の財政健全化に向けて、デジタル技術を活用した業務効率化、県有施設の総量適正化や有効活用などで選択と集中の徹底を図る。またクラウドファンディングやネーミングライツの導入を図るなど歳入確保を強化する。

【再質問】

事業見直しは不十分だ。基金残高 189 億円というが、2 月補正予算で行政改革等推進債 90 億円、調整債 20 億円、臨時財政対策債 79 億円の計 189 億円を起債している。借金して基金を積んだようなものだ。もっと行革に取り組む必要がある。このような財政運営をいつまで続けるつもりか？

【再答弁 石川政策推進担当部長】

臨時財政対策債は償還財源が後年度全額交付税措置されるが、行政改革等推進債や調整債は極力抑制すべきものと考えている。厳しい財政状況について、財政当局だけでなく全部局で改めて認識を共有し、強い決意をもって財政健全化に取り組んでいく。

【意見】

臨時財政対策債も借金は借金だ。資産形成を伴わない借金はバランスシートを悪化させるだけだ。強い決意をもって財政健全化を進めてほしい。

Q. 遠州灘海浜公園（篠原地区）野球場の活用促進

昨年12月、「新野球場建設促進期成同盟会」が2万2千人規模の全天候型ドーム球場の早期整備を川勝知事に要望するなど地元の気運の高まりを実感している。

会派としても、まちづくりの観点から2万2千人以上のドーム球場が必要だと考える。ドーム球場は大きな事業費を必要とするが、経済波及効果が期待できる。そのためには施設を効果的に利活用することが重要だが県としてどのように取り組んでいくか。

【答弁 太田交通基盤部長】

アカウミガメへの影響を考慮し、照明のある屋外球場は候補から除外する。ドームタイプは様々なイベント利活用が進めば大きな経済効果をもたらす可能性があるが、コストや利用料金に課題がある。今後、ドームと照明の無い屋外の両タイプについて、多くの方々に利用してもらう方策を検討していく。またコンサートや展示会などイベントの開催についても来年度需要調査を実施し利活用を検討していく。

【再質問】

タイプを絞らなくても官民連携調査は実施できるか？

また調査は 1-2 年かかると聞いているが、設計以降のスケジュールに影響はないか？

【再答弁 太田部長】

公園のプランを 1 案、野球場のタイプを 2 案に絞るので十分可能と考えている。

調査は丁寧に実施するので時間がかかるが、スピード感をもって取り組み、全体工程が大きく遅れることの無いように取り組む。

創ろう!元氣な浜松&静岡県

田口 章 は持ち前のフットワークで、元氣いっぱい活動しています。日常の活動は、ホームページやブログでも報告しています。インターネットがご利用できる方はぜひご覧ください。



田口 章 で 検 索

